

# ご挨拶



経済学研究科長・経済学部長

若井 克俊

2024年4月1日より経済学部  
長・研究科長を仰せつかりました若  
井克俊と申します。同時に経済学部  
同窓会理事長にも就任いたしました  
。同窓会会員の皆様には、今後と  
も、ご指導ご助言をお願い申し上げ  
ます。

私は、当時始めたばかりの公募人  
事において採用され、2008年10  
月より「ミクロ経済学」および関連  
理論分野の教育・研究を担当する教  
員として着任いたしました。私自  
身、京都大学とは無縁でしたが、皆  
様方の後輩を指導する人物として教  
壇に立てる機会をいただき今日に至  
ること、改めてその重責を感じてい  
る次第です。他方で、依田前学部長  
や歴代の江上、文、岩本学部長、そ  
の他教員の皆さんとともに、教員公  
募人事や学部・大学院カリキュラム  
改革等に携わり、少なからず経済学  
部・研究科の改革に貢献することが  
できたと考えております。

これまでの学部・研究科改革につ  
いては歴代学部長のご挨拶にて詳細  
をご説明いただいております。した  
が、いまして、今回は現在進行中の3  
つの改革についてご報告させていた  
だきます。まず、第一に、2022

年度入学生より実施している「デー  
タ科学分野選択制度」という全学共  
通教育改革があります。この制度は  
2回生時に「初修外国語（第二外国  
語）」か「データ科学分野科目」の  
いずれかを必修科目として選択する  
というものです。過去七十年あまり  
の研究成果を受け、経済学は、市場  
の競争的もしくは戦略的構造の理論  
的分析を踏まえつつ、大型データの  
背後にある経済的因果関係等を分析  
する学問へと変貌を遂げています。  
コンピュータ性能と推計技術の向  
上のもと、日常のビジネスシーン  
のみならず経済学研究の第一線にお  
いてもデータ分析の重要度が飛躍的  
に高まっています。現状を踏まえる  
と、データサイエンス関連知識の習  
得を希望する学生に対し、その選択  
肢を提供する必要があると判断して  
おります。

第二に、「学士・修士5年プログ  
ラム（修士課程短期修了制度）」の  
推進です。こちらは、一定の条件を  
満たした学部生に対して4回生から  
大学院科目の受講を認め、修士課程  
を1年で修了することをめざす制度  
です。2018年度の大学院入試か  
ら開始し、多い年には10名を超える

学部生が本制度を利用して修士課程  
へと進学しています。他方、アメリ  
カ等と比べ日本では社会科学系の修  
士号や博士号取得者が大幅に少な  
く、競争力低下を招いているとの指  
摘もあり、文部科学省も対策を求め  
ています。我々としてもより多くの  
学部生に本制度を利用いただきたい  
と考えておりますが、そのためには  
は、大学院進学者にとって最大の関  
心事である就職状況の改善が必要に  
なります。経済学研究科では、従来  
型の「研究者養成プログラム（博士  
後期課程への進学を予定）」に加  
え、計量的分析能力と創造的問題解  
決能力の習得と主体とする「高度人  
材養成プログラム（修士で修了）」  
も設定しており、特に後者は企業や  
官公庁等への就職を想定しておりま  
す。同窓会会員の皆様におかれま  
しても、修士課程や博士課程を修了し  
た学生の受け入れを積極的にご検  
討、ご支援いただければ幸いです。

第三に、新形式へ変更した経済学  
部「特色入試」の認知度向上です。  
2023年度入試より、これまでの  
論文試験を用いた「総合選抜型」の  
入試から、書類選考を主体とした  
「学校推薦型（文系型と理系型の2  
タイプ）」へと変更しました。各高  
等学校長は、課外活動等を通じて成  
果のあった生徒のうち学業等優秀者  
を文系型・理系型それぞれに2名ま  
で推薦できます。推薦された生徒の  
中から、大学入学共通テストで一定  
水準の成績を修めた上、優秀者と認  
められる生徒に対し入学を許可して  
おります。特に、大学院への進学希  
望者の出願を促しており、今後の動  
向を注視している次第です。また、

2025年度入試より、男女共学の  
高校からは文系型・理系型それぞれ  
で推薦できる男子の上限を1名とす  
るように変更し、女子学生の獲得に  
も積極的に乗り出してまいります。  
「学校推薦型」の特色入試は京都大  
学各学部で採用が増えており、従来  
の筆記試験を用いた入試では測るこ  
とが難しかったリーダーシップや研  
究能力を積極的に評価する方向に進  
んでおります。関連する動画を経済  
学部Webページにも掲載してあり  
ますので、お時間のある時にご覧い  
ただき、同窓会会員皆様のお知り合  
いやご子息・ご息女への情報共有に  
ご活用いただければ、認知度向上に  
つながるものと期待しております。

最後に、大学を含め、多くの組織  
で運営状況に対し、昨今の物価上昇  
や円安の影響が出ております。本同  
窓会も例外ではありません。理事長  
として、運営状況等に関して注視し  
ていく所存ですので、同窓会会員の  
皆様におかれましても、今後とも変  
わらぬご支援の程、よろしくお願  
いいたします。

